

自立支援協議会 就労支援部会

見学企業：日本食研スマイルパートナーズ株式会社

日 時：令和6年9月2日（月） 13：30～15：00

参加者：今治市障がい福祉課・基幹相談支援センター・就労継続支援事業所等 24名

○企業説明

愛媛工場 障害者雇用 29名

- ・食品包装、シール、箱詰めのライン工程で業務を行う。
- ・障がい者雇用への取組み（企業側）
- ・障がい者就業生活相談員、企業在籍型ジョブコーチの配置
- ・障がい特性に配慮した作業施設・設備を整備
- ・障がい特性に配慮した写真を主体とした作業マニュアル作成
- ・キャリアアッププランの作成
- ・借上げ社宅制度を利用することで、通勤への配慮や障がい者の自立を支援。
- ・就労支援機関との連携体制

○今後の課題

- ・将来へのモチベーションアップ
- ・職場実習の見直し → 1日の実習を一律にしない。個々に合わせた実習時間を検討。
- ・人材確保（特別支援学校、ハローワーク、関係機関との連携）

令和6年度第2回 自立支援協議会就労支援部会 企業見学感想

1. 企業見学をした感想	企業見学をした感想（詳細）	2. 見学をしてためになったこと	3. 今後見学してみたい企業	今後実施したい事
大変ためになった	企業が障がい者に対して配慮していることがたくさんあり感銘を受けた。冷房の温度や休憩室をわけるなど、働きやすい環境が作られていることがわかった。	働いている雰囲気や手元を遠くからだが実際に見ることができ、事業所の利用者に自分から説明できるようになったこと。 求める人材として休まない方、体力のある方と答えられており、基礎的な体力や出勤率が大切だと改めてわかった。	病院や施設内の清掃系、販売系など	自立訓練のスタッフ 毎日通う・体調管理 自立訓練で実践していきたい
大変ためになった	障がいを持たれている方のレベルの高さに驚いた。作業室がとても広く、また、従業員が分かりやすく仕事ができるよう、ラインの区分けができていると感じた。 財形貯蓄のことなど、社員のために尽力されている点がとても素晴らしいと感じた。	実習から面接、作文など、障がい特性によっては少し厳しく感じるが、従業員を正社員として雇うことの大変さを改めて感じられた。 定期的な面談や気軽に声掛けができる雰囲気づくりに力をいれるなど、社員が継続して働くための支援を知れた。	イオン新都市・一広物流・BEMAC	個別に対応されていた 求められている事が分かった 敷居が高いかな 採用に至るまでのハードルが高い 今後その事を伝えて行きたい。
ためになった	今治市の障害者雇用に理解いただいている日本食研に感謝しかないと思う。 設備 環境 労働基準条件とも障害者にとって大変考慮されている。	現在作業工程のライン1つに対し7から8名の配置で作業しているが、企業の要望ではライン1つに対し10人の配置を想定しているとの説明があった。 企業が求める人員が不足しているとは意外であった。	地場産業関係（タオル等）	面接・就労に向けて もっと企業様と関った方がよい
大変ためになった	・職場定着に向けての取組みについて、積極的に改革されていると感じた。 特に金銭面の充実（等級制度・人事評価財形など）でモチベーションアップを図っていることが印象的だった。 ・実際の商品（食品）を取り扱う作業であるため衛生面や袋詰めなどの向きなど繊細さを求められることから、難易度は高く感じた。	・より良い職場環境となるよう、企業側も変化していること	アビリティセンター	
大変ためになった	合理的に4つのレーンを活用している	特例子会社をつくることによるメリット	タクマテクノス(パルクリー ン)	

大変なめになった	・日本食研様が求めている求人像がわかってよかった 毎日出勤・身だしなみ・マナー重視 ・職場環境を良くしようと努力されている事が理解出来て良かった。	働く意欲を高める為に	・給料面を充実	大勢での見学が難しいかも しれないけど 身近にある中小企業様で障 がい者雇用をされている企 業	
大変なめになった	障害を持った方への配慮があった 足元にマット→疲れない 凄いなと思った				
					特徴に合わせた個々の対応をされていた 募集しているけど人が集まらない 敷居が高い？ 大手の企業と事業所が繋がって募集人材 を提案できればよい 情報提供ができる。